

SORA

web magazine 2016.jan. vol.67

Travel



Maldives

local island

Photo & Text :
Yasuaki Kagii

新しいモルディブの楽しみ方 ～ローカル島のゲストハウスに滞在して楽しむモルディブ～

以前はダイバーのためだったモルディブのリゾートだが、今は多くのリゾートが一般のゲストをターゲットにして、ラグジュアリー&モダン化し、価格も随分と高騰した。昔の良き時代のモルディブスタイルでダイビングを楽しみたい方に朗報。ゲストハウスと言えど、チープな宿泊施設ではない。2年程前から始まったこのスタイルは、ヨーロッパ中心に広がりつつある。日本人ダイバーもダイビングに特化したモルディブ・ゲストハウス滞在を是非!

MAP
CLICK!

tsumi-shima

ダイバーの夢をつみあげていく島

tsumishima.com



(株)ワールドツアープランナーズ
www.wtp.co.jp

© 2016
World Tour Planners Co., Ltd.
All Rights Reserved.



南マーレ環礁にマーフシア일랜드が、 奇跡の島として注目を浴びている

昔から日本人ダイバーに馴染みのある南マーレ環礁。環礁の東側には、ダイバーに人気のビヤドゥアイランド、カンドゥーマアイランドなどが並ぶ。その中のひとつであるマーフシア일랜드。これまではローカル島として、リゾートのエクスカッションでお土産を買いに行く程度の認識だった島が、今は世界中からゲストがやってくるローカル島として注目を浴びている。2年程前からゲストハウスが建ち始め、現在では約45軒ある。では、リゾート島とローカル島では何が違うのか？ まず、ローカル島では女性が水着で歩いたり、ビーチで泳ぐことは禁止されている（イスラム教のため）が、ここマーフシア일랜드は、その雰囲気少し緩い。2年前は、ココナッツで囲われたビーチのみで水着がOKだったが、それが良かったのかゲストが来るようになり、今では、現地のモルディビアンもあまり水着の女性を気にすることもなく、まるでどこにでもある南の島のような雰囲気を楽しむことができる。またマーレからも近く、毎日フェリーやスピードボートが運航しているのも魅力のひとつ。モルディブに長く住む日本人女性は、「マーフシア일랜드は、ローカル島としてはゲストとローカルの人たちがうまく共存できている奇跡の島だ」と話してくれる。確かに島のいたるところで、リゾートではお見かけしないモルディブの女性たちや子供たちの笑顔や笑い声を聞くことができる。リゾートでは見えなかったモルディブの素顔が垣間みることができる。

もしもお酒が飲みたくなったら、島ではお酒は提供されないの、沖合に停泊しているダイブクルーズ船に行く。港から送迎は無料で、移動時間は3分程。メニューはビールやウィスキー、ラムなどが各5ドル。フレンチフライやフライドヌードル、フライドライスなども5ドルくらいで用意されている。



Maldives
local island
モルディブローカルアイランド
Travel





Maldives
local island
モルディブローカルアイランド
Travel

今回お世話になった日本語の話せる モルディビアンが経営するゲストハウス

ハネムーンではなく、友人同士やファミリーにお薦め、日本人ターゲットのゲストハウス。日本語が話せるアミールさんと日本人スタッフ2人がいる。客室は7部屋で、ツインとダブル、トリプルルームがある。トイレ、温水シャワー完備。レセプション兼リビングで寛ぐのも良い、隣のテーブルでは朝食から夕食まで食べることができる。朝食以外のメニューはアラカルトで、サンドイッチやフライドヌードル、フライドライスなどお手頃な値段で提供している。マーフシア일랜드のゲストハウスのほとんどは、歯ブラシ、石鹸、シャンプーなどの備えがないので持参する。もしくはゲストハウス、近隣の売店で購入することができる。ダイビング以外のエクサカーションは、ランチなどを楽しむためにリゾートのデユース（9時～6時までなど）が人気。ココアアイランド、カンドゥーマアイランド、ビヤドゥアイランドなどに予約して行くことができる。また、シュノーケリング（マスク、フィン無料）、ナイトフィッシングなども楽しむことができ、リゾートに滞在しているのと同様変わらないメニューを楽しむことができる。さらに、アリ環礁へのジンベイスノーケリングトリップや、その日に行き先が決まる1 day エクサカーション（無人島へ行き、ランチピクニックなどをする）などもある。Maafushi Veli では、USDドルが不足したり、クレジットカードがなければ、日本円での支払いも可能。





Maldives
local island
モルディブローカルアイランド
Travel



南マーレ環礁の有名ポイントでダイビング!

マーフシア일랜드には2軒のダイビングサービスがある。今回お世話になったマーフシダイブは、海岸線からひとつ奥に入った通りに面する。黄色い建物が目立つお店で、中は広く、壁に掛けられた BCD やレギュなど、レンタル器材なども充実している。またナイトロックも完備しているので、何も問題はない。朝8時に集合して器材をまとめると、ガイド陣がボートまで運んでくれる。お店から近い港から乗船。モルディビアンガイドに「今日はどこに行くの?」と聞くと、「カンドゥマ・ティラとどこかに行く、潮の流れ次第で決める」とのこと。カンドゥマ・ティラは、南マーレ環礁の中でも人気のポイントで、潮読みなど、少しガイドするのは難易度が高いポイント。でもガイドは軽くそのポイ

ントの名前を挙げたので、彼の実力が読めた。そしてマーフシア일랜드から行けるダイビングポイントについて聞いてみた。実は、私(鍵井)は1996年から98年まで、近くのビヤドゥアイランドでダイブガイドをしていたのだが、そのビヤドゥ時代にガイドしていたポイントとまったく同じ範囲でのダイビングだということが分かった。これまた、リゾート滞中で、ダイビングを楽しむのとは何ら変わりはない。



Maldives local island

モルディブローカルアイランド

Travel

カンドゥマ・ティラ&メドゥファルでのダイビング



カンドゥマ・ティラは、チャネルの中にある細長い根で、外洋に面しているために、高い透明度と魚影の濃さが特徴。外洋からエントリーしてリーフエッジを行くと、大小様々なお魚が行き交う。メジロザメやマダラトビエイの姿もちらほら。亀裂のある海底から上を眺めると、キンメモドキが輝き、海の雄大な景色に気付く。根の上は、オリエンタルスイートリップスやカラーレバタフライフィッシュなどの大きな群れや巨大なアオウミガメに会える。メドゥファルは、あの有名な大物ポイントのグライドゥコーナーの対岸のポイント。潮の流れに乗りながら進んでいくと、クマザサハナムロの群れなどが周囲を取り囲む。ナポレオンやタイマイが次々に現れ、我々を楽しませてくれる。ダイビングのスケジュールは、午前2ポートダイブ、午後は1ポートダイブ。ナイトダイブはリクエストベースで、ハウスリーフではなくポートダイブとなる。

tsumi-shima
ダイバーの夢をつみあげていく



Maldives

local island

モルディブローカルアイランド

Travel

憧れのぐるぐるマンタが、もっと身近な存在になった。
その理由はもちろん、新しい滞在スタイル！

tsumi-shima

ダイバーの夢をつみあげていく島



ぐるぐるマンタが見られるハニファルベイに近いゲストハウス

バア環礁のあるハニファルベイは、7月～11月の新月、または満月の週にたくさんのマンタが集まることで有名なポイント。多い時には100枚ものマンタが捕食の為に集まり、海中はとても賑やかになる。そのマンタたちの饗宴を一目見ようと世界中からダイバーやシュノーケラーがやってくる。これまでは近くのリゾートやダイブサファリに滞在してしかアプローチすることはできなかったが、今回は、新たにゲストハウスステイが加わった。それは、ハニファルベイに近いローカル島のダラヴァンドゥ島。バア環礁の国内線の空港がある島で、マレから20分（夜のフライトも可能）でアクセスできる。空港が出来た2012年から、

ダラヴァンドゥ島にもゲストハウスが建ち始め、現在では、各ゲストハウスに滞在するヨーロッパ人を島の至るところで見かける。ゲストハウスも様々で、まるでリゾートのような充実した施設を持つゲストハウスや、バックパックで旅する人向けの安価なゲストハウスまである。また、ダイビングセンターも2軒あり、ハニファルベイを始め、バア環礁でのダイビングを提供している。

Maldives
local island
モルディブローカルアイランド
Travel

AVEYLE

昨年オープンしたゲストハウスで、海岸線に建つ。リゾートのような充実の施設で、ゲストハウスの域を超えている。客室が全16室で、オーシャンビュールームとヴィレッジビュールームがある。現在の価格は、1部屋 110ドル～150ドルだが、今後は値上がりしそうな予感。ダイビングセンターも併設される。



HIYAA ilaa

海岸線から少し町中に入ったナチュラル系のリゾート。ここの釣り好きのヨーロッパゲストなどで満室状態だった。豪華ではないが、素朴で、清潔感のある雰囲気に好感が持てた。客室は全5部屋。



LVIS

AVEYLE の隣にあったゲストハウス。海岸線から眺めるとなかなか雰囲気の良さそうな感じだったので、室内の撮影の許可を申請したが、ゲストで満室とのこと。しっかりと機能している様子。



KETHI LODGE

ダラヴァンドゥ島で一番最初にできたゲストハウス。客室は4部屋で、造りはとてもシンプル。来年には全てリノベーションを行い、装いも新たになるという。





Maldives local island

モルディブローカルアイランド
Travel



空港に近いフルマーレ島のゲストハウス

フルマーレ島は、マーレ空港があるフルレ島の隣にある。首都マーレの住宅事情の緩和のために開発された埋め立て地で、第2のマーレ島でもある。首都マーレのような人やバイクなどが溢れる賑やかな街ではなく、のんびりとした雰囲気特徴。モルディブの離島のリゾートは、最近特にラグジュアリーなイメージがあるが、フルマーレの海岸線には、リーズナブルなゲストハウスが立ち並び、フルレ島からバスで約1ドルでフルマーレ島まで行くことができ（ゲストハウスの送迎もあり）、フルレ島のホテルに滞在するよりもずっとリーズナブルに宿泊することができる。夜に離島まで移動できないツーリストのためのトランジットホテルとして、またゲストハウスに長期滞在するツーリストが増えたために、ウォータースポーツセンターやダイビングショップ、スパ、レストランが充実し、空港からは車で行けるリゾート地として、注目を浴びている。他のローカル島のゲストハウスよりも、マーレに近いために都会的。例えば、shell beans のようなマーレにもあるwifi 完備のカフェもあり、何かと便利。ダイビングに関しても事前に旅行社、またホテルで予約することで、当日ダイビングスタッフがホテルにピックアップに来てくれる。フルマーレ島のゲストハウスに滞在することで、またこれまでとは違ったモルディブの旅を味わうことができそうだ。



モダンでお薦めのゲストハウス VISTA BEACH RETREAT

2015年8月にオープンした、フレンドリーなスタッフが揃うゲストハウス。ビーチフロントにあり、規模は小さいがラグジュアリーな外観、内容が魅力。グランドフロアは、レストラン（朝食はパッフェ、ランチ&ディナーはアラカルトで、タイ料理やスリランカ料理、ローカルフード、パスタなどもあり、インターナショナル料理が楽しめる）1階は客室とレセプション。2〜3階は客室で、オーシャンビューとスタンダードルームがあり、客室は広く、清潔感に溢れ、リゾート気分を満喫できる。ハネムーンで離島に向かう前のトランジットホテルとしても何ら遜色はない。屋上には、大きなジャクジーや広いサンデッキがある。ローカル島なので、お酒は空港ホテルでしか飲むことができないが、滞在ゲストは、週末の木・金曜日の夜にサファリボートにディナー&お酒を飲みに行くことができる。



Maldives
local island
モルディブローカルアイランド

Travel

